

ダムは、大雨のとき、放流する水量をコントロールし、ダム下流河川の急激な水位上昇をおさえています。

令和5年8月の台風では、鳥取市の佐治川ダムで、限界を上回る雨量によりダムが満水となり、上流からの水を貯めることができなくなつたため、緊急放流※を行いました。

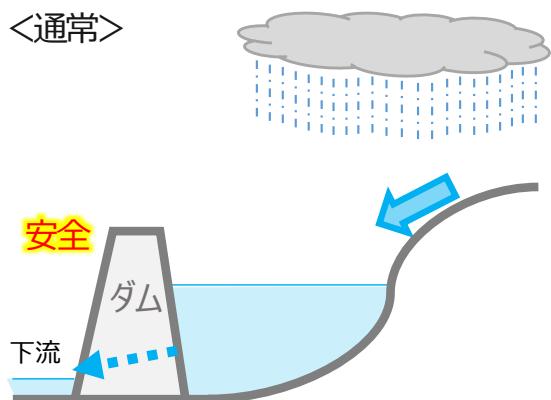
近年、気候変動による洪水リスクが高まっていると言われており、**ダムがあるから安心と思わず、早めに避難し命を守る行動をとってください。**

※緊急放流は下の図を参照してください。

## ダムの限界

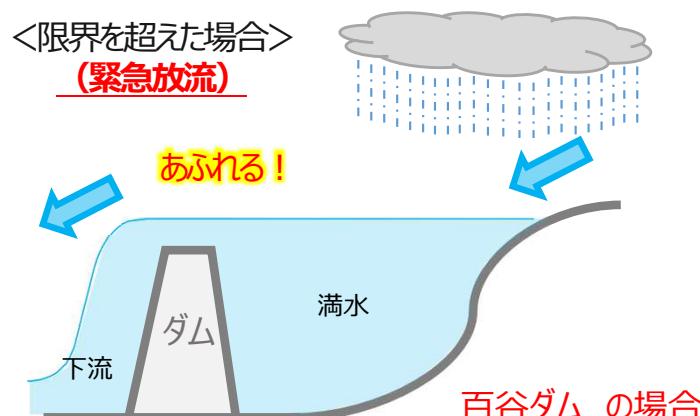
大雨のときは、上流から流れてくる水の一部をダムにためることができますため、下流は安全です。

＜通常＞



豪雨により貯水能力の限界を超えると、ダムに流れてきた水がそのまま下流へ流れるため、被害が発生する恐れがあります。

＜限界を超えた場合＞  
**(緊急放流)**



## ダム放流への備え

緊急放流の場合、河川の水量が増えて氾濫する恐れがあるため、早めの避難をお願いします。



**ダム下流にお住まいの皆様は、ダムの機能や放流情報の伝達方法等についてご承知ください。**



### 【ダムの情報】

- 県管理の治水ダム
  - ・佐治川ダム
  - ・百谷ダム
  - ・東郷ダム
  - ・朝鍋ダム
  - ・賀祥ダム



### 【鳥取県防災情報ポータル】

- 河川監視カメラ提供システム
- とっとりゆきみちナビ

# 放流の予告

異常降雨等により、ダムへ入ってくる水が多くなった場合、洪水調整のため自然放流（一定以上水位になると自然に越流）を行います。

その場合、前もって警報局（百谷、滝山、立川）からサイレンを鳴らします。また、警報車による通報を行います。

## ＜サイレンの鳴り方＞



## ＜アナウンス例＞

～ こちらは、鳥取県土整備事務所です。百谷ダムからの放流量が大幅に増加する見込みです。川の水が増えて危ないので、川から離れて十分注意してください。～  
…繰返し2回…

## ＜警報局の位置、警報車経路、水位観測位置＞

